

入院のご案内

—患者さんご家族の皆様へ—



NEWHEART
ニューハート・ワタナベ国際病院
NEWHEART WATANABE INSTITUTE

目次

- P. 2 健康管理のお願い
- P. 3 ニューハート・ワタナベ国際病院の理念と基本方針
- P. 4 当院の機能と役割
- P. 5 患者さんをご家族の皆様へ
- P. 7 入院の手続きについて
- P.10 入院にあたっての注意事項
お薬について
- P.11 入院時、ご持参いただくお薬について
- P.13 入院中の生活
- P.14 退院の手続きについて
- P.15 設備やサービスについて
- P.17 お部屋の案内
- P.19 医療相談室の案内
- P.20 診断書・証明書について
- P.21 災害・緊急時の対応について
- P.22 感染対策について
- P.23 医療安全について
- P.24 転倒・転落防止について
- P.25 褥瘡^{じゆくそう}予防対策について
- P.26 疼痛^{とうつう}(痛み)について
- P.27 せん妄^{もう}について
- P.29 深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症を防ぐために
- P.30 個人情報保護方針
- P.32 医療費が高額となる患者様へ
- P.34 施設案内
- P.35 アクセス・診察受付時間

健康管理のお願い

ご体調によっては、入院・手術・治療・検査の延期をお願いすることもございます。

予定通りの診察・検査・治療が行われるために、以下の日常生活及び健康管理をお願い致します。

1. 日常生活の注意点

◆感染リスクの高い行動は控え、「マスクの着用」や「手洗い」、「3密（密閉・密集・密着）回避」、「換気」など基本的な感染対策の徹底をお願いします。

◆同居の方も同様の健康管理をお願いします。

2. 入院・外来受診前に感染症（コロナウイルス・インフルエンザなど）が疑われる（発熱・のどの痛み・倦怠感がある）場合

◆来院せずに、近医の受診、または事前のご連絡をお願いいたします。

◆他院受診後、感染症の診断をされた場合で1か月以内に外来・入院予定のある場合は当院へご連絡をお願いいたします。

当院の連絡先：03-3311-1119

3. 来院時の注意点

◆来院時は必ずマスクを着用してください。

◆病院では、マスクを配布していないため、使用するマスクはご持参ください。

ニューハート・ワタナベ国際病院の理念と基本方針

ニューハート・ワタナベ国際病院の理念

私たちはニューハート・ワタナベ国際病院の社会的貢献の象徴として、医療の提供を通して病院を利用される全ての人々、そして病院で働く全ての人々の幸せに尽くします。

ニューハート・ワタナベ国際病院の基本方針

- 1 患者さんの権利と人格の尊重
 - 2 世界的視野に立った最高の医療の提供
 - 3 チーム医療の推進
 - 4 適切なリスク管理と安全な医療の提供
 - 5 地域医療の発展と連携の推進
 - 6 ITの医療への活用と社会への還元
-

患者の権利と責任

1 良質で安全な治療を受ける権利

患者さんは、個人の背景の違いや病気の性質にかかわらず、良質で安全な治療を受ける権利を有します。

2 十分な説明と情報を得る権利

患者さんは、自己の治療に関して、自らが理解できることばで、診断、治療、および予測される経過に関し、すべての情報を得る権利を有するとともに自己の診療記録の開示を求める権利を有します。

また、他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利を有します。

3 自らの意志で選択する権利

患者さんは、治療を選択する権利、あるいは拒否する権利を有します。

4 プライバシーが守られる権利

患者さんは、自己の医療に関する記録や個人情報やプライバシーについて保護される権利を有します。

5 自らの健康・疾病情報を正確に提供する責任

患者さんは、良質で安全な治療を受けるために、自身の健康・疾病に関わる全ての情報を医療者に正確に提供する責任を有します。

6 自らの健康状態・疾病の理解に努める責任

患者さんは、良質で安全な治療を受けるために、自ら治療に参加する意識を持つ責任を有します。

患者さんは、医療者の指示・説明について気兼ねなく質問し、十分理解した上で、自身の治療に協力する責任を有します。

7 病院環境や他の患者さんへ配慮する責任

患者さんやその関係者は、自らの理不尽な言動で、他の患者さんの受診や病院職員の業務に支障を与えない責任を有します。

8 医療費を支払う責任

当院で受けた医療に対する費用について、患者さんは、外来受診当日または退院日、若しくは当院が指定する期日までに必ず支払う責任を有します。

※ 当院では、患者さん・ご家族の方々からの金品等のお気遣いは、一切ご遠慮させていただいておりますので、ご理解願います。

ニューハート・ワタナベ国際病院 院長

当院の機能と役割

1 当院は急性期医療の病院です

当院は、急性期病院の認定を得て、緊急・重症の患者さんを「一人でも多く、一日でも早く」受け入れるようにしています。また、地域の医療機関などからの紹介で、高度な急性期の入院治療が必要な方を積極的に受け入れています。

2 病状安定後は退院、長期療養を必要とする患者さんには、転院をお願いしています

急性期治療を必要としている方に適切な対応をするために、急性期治療が終わった患者さんには、退院していただき、紹介元(かかりつけ医など)へ通院となります。

長期療養が必要な患者さんは、適切な時期に地域の医療機関に転院をしていただきます。

3 地域の医療機関と連携を図っています

当院は、地域の医療機関、かかりつけ医師と密接な医療連携を結び、切れ目のない医療の提供を実践しています。退院や転院については、医師、看護師、または患者サポートセンターにご相談ください。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

患者さんにご家族の皆様へ

患者さん・ご家族の方との信頼関係を構築し、最良の医療を提供するために、ルール事項をご理解ください。

1 患者さんへの説明・同意

当院では、書面で正式な説明同意をいただく診療項目と、口頭で説明、同意確認をさせていただく診療項目に分けて、対応させていただいております。疑問や質問がおありの場合は、医師、看護師までお申し出ください。

2 治療やケアへの参加

治療やケアに関する話し合いには、是非ともご参加ください。当院では患者さんやご家族の希望、意見を伺いながら、治療やケアの計画を進めております。

患者さんには、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

3 患者さん自身による、医療行為の確認

点滴・注射・検査容器・薬袋などには、患者さんの氏名が記載されております。

事前に十分確認しておりますが、不明な点や誤りを発見された場合は、直ちに病院職員へお知らせください。

患者さんと病院職員が連携し、安全な入院生活をお送りいただけるよう努めます。

4 患者さんのプライバシー

入院される方が治療に専念できるよう、病室は居住性と「プライバシー」を確保しております。

「プライバシー保護」の観点から以下のように実施しております。

(1) 入院中の患者さんについてのお問い合わせ対応

- ・電話によるお問い合わせの場合

入院中の事実を知っている、知らないに関わらず、お答えしておりません。

- ・来院された場合

入院されている事実を知らない場合は、お答えしておりません。

入院されている事実を知っており、入院病棟が不明の場合は「面会お断り」が出ていないことを確認のうえ、当該病棟スタッフコーナーをご案内いたします。

(2) 面会についての対応

入院中の面会制限を希望される方は、病棟の看護師長までお申し出ください。

5 迷惑行為について

当院では、次のような迷惑行為があった場合、診療をお断りする場合があります。

患者さんの安全を守り、診療を円滑に行うとともに、最善の医療を提供するためにも、ご理解のほどお願いいたします。

- (1)他の患者さんや病院職員に対しハラメントや暴力行為があった場合、もしくはそのおそれ
- (2)大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼす、あるいは病院職員の業務を妨げた場合
- (3)解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げた場合
- (4)建物設備等を故意に破損させた場合
- (5)受診に必要でない危険な物品を院内に持ち込んだ場合

6 病院敷地内での制限事項について

- (1)全面禁煙となります。
- (2)写真撮影・録画・録音等は禁止となります。

ご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

入院の手続きについて

1. 入院について

入院予定日の変更・キャンセルを希望される場合は、以下へお電話ください。

受付時間

平 日 : 9:00 ~ 16:00

お問合せ先 : 03-3311-1119 (代表)

2. 入院当日の持ち物について

(すべての方)

- 診察券
- 保険証またはマイナンバーカード
- 入院申込書(誓約書)兼連帯保証申請書
- 特別療養環境室(差額腔料)入室同意書
- 周術期口腔機能管理計画書
- クリニカルパス
- 入院中に行う検査・治療の同意書
- 入院のご案内(本冊子)
- 下着などの衣類
- 筆記用具
- 電子体温計
- 紐がなく着脱が容易で滑りにくく、かかとが覆われた履物
(転倒防止のためスリッパやサンダル・クロックスはご遠慮ください)

※当院では、マイナンバーカードでの保険資格の確認を実施しております。

マイナンバーカードを保険証としてご利用される場合、事前に保険証利用の手続きをお願いします。

(該当者のみ)

- 各種公費助成証(医療受給者証、公費医療券、高齢受給者証など)
- 限度額適用認定証
- 退院証明書(3ヶ月以内に他病院に入院されていた場合)
- お薬手帳
- お薬(現在服用中のお薬を入院期間分お持ちください)
- 義歯(入れ歯)、義歯洗浄剤、補聴器、眼鏡など、各種収納ケース(記名したもの)
- イヤホン(相部屋でテレビ(有線のイヤホンのみ対応)・ラジオ等をご利用される方)

パジャマ(裾を引きずらない長さ)

タオル・バスタオル

洗面・入浴用品

(歯ブラシ、コップ、シャンプー、ボディソープなど)

ティッシュペーパー

※電化製品の持ち込みはお断りしております。

ドライヤーについては病棟にて無料でお貸しします。

3. 入院セットのレンタルサービスについて

入院中、有料のレンタルサービスを行っております。入退院受付で申込みを受付けており、入院後の申込みも可能です。交換目安は、原則、週2～3回の交換となります。汚れた場合は必要に応じて、交換させていただきます。

手ぶら入院が可能です！ 急な入院時、お着換えの準備は不要です。

常に安心・清潔な商品をご利用できます。 商品は専用工場の洗濯で消毒処理を行います

Aセット 日額 750円(税込825円)

- ・パジャマ上衣 (3枚/週)
- ・パジャマズボン (3枚/週)
- ・ガウン
- ・バスタオル (3枚/週)
- ・フェイスタオル (1枚/日)



患者衣 (基平型) 患者衣 (ズボン) ガウン タオル類

【素材・サイズ】患者衣: 綿70%ポリエステル30%(S~LL) バスタオル: 綿100%
 ガウン: ポリエステル100%(S-L) フェイスタオル: 綿100%

Bセット 日額 650円(税込715円)

- ・パジャマ上衣 (3枚/週)
- ・パジャマズボン (3枚/週)
- ・ガウン



患者衣 (基平型) 患者衣 (ズボン) ガウン

【素材・サイズ】
 患者衣: 綿70%ポリエステル30%(S~LL)
 ガウン: ポリエステル100%(S-L)

Cセット 日額 650円(税込715円)

- ・バスタオル (3枚/週)
- ・フェイスタオル (1枚/日)



タオル類

【素材】
 バスタオル: 綿100%
 フェイスタオル: 綿100%

Dセット 日額 600円(税込660円)

- ・おむつ テープorパンツ (1枚/日)
- ・パッド (昼用3枚 夜用1枚/日)



テープ パンツ パッド

共通消耗品 (A~Cを申し込まれた方対象)

シャンプー・リンス・ボディソープ
 歯磨きセット・コップ
 ボックスティッシュ・マウススポンジ
 口腔ジェル・耳せん
 アイマスク・イヤホン 等



- ・組合せはお客様により選択いただきます。
- ・提示金額は日額となります。使用枚数による料金の変動はありません。
- ・利用開始日～終了日まで料金が発生いたします。

運営会社：ワタキューセイモア株式会社

レンタル申込/変更・退院時解約方法

1. 入院受付時に申し込み・解約のご案内
2. タブレットにて申込書に必要事項を入力 (申込時)
3. ナースステーションもしくは医事課にて申込
4. 変更・解約時はタブレットで必要事項を入力 (退院・解約・変更時)
5. ナースステーションもしくは医事課にて変更・解約申込をタブレット入力

お支払い

請求書と払込書を郵送します。(料金請求は入院費とは別請求になります。)

当月ご利用分を翌月に郵送でご案内します。最寄りのコンビニエンスストアでお支払いできます。

4. その他

・ベッド周りや病室に荷物が多いと治療・処置時の移送時などの妨げになりますので、入院時の持参品は、必要最小限でお願いいたします。

5. 入院時の持ち込みについて

入院中にお持ちいただいたものについては、原則個別にお預かりはしておりません。

ご自身で管理をお願いいたします。また、盗難、紛失、破損につきましても、当院では一切責任を負いかねます。

1 金銭、貴重品について

- ・多額の金銭・貴重品の持ち込みは固くお断りいたします。
- ・盗難防止のため、セーフティボックスには鍵をかけ、鍵は常に身につけて、ご自身で管理してください。
- ・鍵の紛失については実費をご負担いただきます。

2 医療機器、器材について

- ・温熱器などの医療機器、あるいは人体に影響を与える器材の持ち込みを希望される場合は、医師が持ち込みの判断をさせていただきます。
- ・当院が、器材の安全な使用について責任を持ってない場合は、持ち込みをお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3 携帯品(眼鏡・義歯・補聴器等)について

- ・原則、ご自身で管理をお願いします。(収納ケース等の貸出もしておりません)
- ・ご自身で管理ができない場合に限り、当院の規定に従い看護師がお手伝いする場合がございます。その際は、入院時と退院時に患者さんご自身またはご家族と携帯品の確認をさせていただきますのでご協力をお願いいたします。

4 持ち込みをお断りしているもの

- ・ハサミ、カッターなど刃物
- ・アルコール類(ノンアルコール飲料を含む)
- ・タバコ(電子タバコや電子タバコに類似する製品を含む)、ライター
- ・生花、鉢植えなどの植物
- ・動物
- ・電気ストーブ、電気ポット、加湿器、扇風機、冷蔵庫、電気毛布、テレビ等の電化製品
- ・寝具(追加で必要な場合は可能な範囲で病棟にて用意します)
- ・つけ爪(ジェルネイル含む)は入院前に外してください。マニキュアは落としてください

6. 入院中の健康保険被保険者証変更について

入院中に健康保険被保険者証の記載内容の変更や公的医療制度の利用等があった場合は、すみやかに病院職員にお申し出ください。

入院にあたっての注意事項

治療の計画や内容は、担当の医師、看護師から詳しく説明いたします。
不明な点は遠慮なく、お尋ねください。以下に当たる方は、看護師までお申し出ください。

- ・痛みがある
- ・妊娠している
- ・薬をたくさん飲んでしまう傾向がある
- ・お酒をたくさん飲んでしまう傾向がある
- ・身体的な不自由がある
- ・視覚、聴覚など感覚に障害がある
- ・認知症がある
- ・日本語がよく分からない
- ・治療についての説明が難しすぎる
- ・治療を受けたくない
- ・自分なりの強い信条、価値観、宗教がある
- ・気分が不安定である
- ・精神科、心療内科の病気にかかったことがある
- ・心理的な問題がある
- ・家族にきちんと面倒をみてもらえない
- ・社会で暮らしていくのに問題がある
- ・経済的な問題がある
- ・治療についての説明は聞きたくない

お薬について

- 1** 入院する前に使用されていたお薬や、他の医療機関のお薬に関する情報はとても重要です。お薬手帳など、お薬の内容がわかるものを必ずお持ちください。
- 2** 入院中は、安心してお薬を服用していただけるよう、「お薬について不安なことや、知りたい事」がありましたら薬剤師にご相談ください。
- 2** 退院時、退院後から服用されるお薬が処方されている方には『お薬の説明書』のお渡しと、ご希望の方はお薬手帳のシールも貼付させていただきます。
(当院は、お薬手帳アプリの対応はしておりませんので、ご了承ください。)



入院時、ご持参いただくお薬について

入院時は、

現在使用しているお薬を、袋に入れてお持ちください。

入院後、薬剤師または看護師が鑑別し、医師へ情報提供の上、今後の診療に役立たせて頂きます。

(注：現在使用しておらず、今後も使用予定のないお薬は持参なさらないでください)

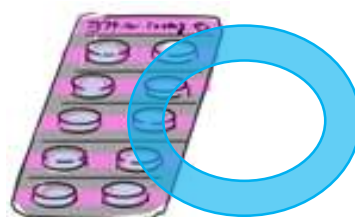
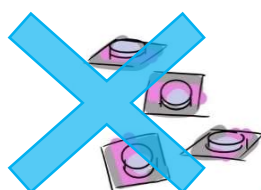


ご持参いただく際には

①ご持参いただく、すべてのお薬の飲み方、使い方などが分かるもの『お薬手帳』、『薬の説明書』等を、一緒に袋に入れてご持参ください。



②お薬はバラバラに切ったりせず、なるべく薬局で頂いた状態でお持ちください。



③眼科薬の取り扱いは少ないため、入院中に使用する分の目薬は余裕をもってご持参ください。

④入院後、一旦お薬をお預かりしますので、袋は取り出しやすいところへ入れてお持ちください。

使用しなかったご持参薬については、退院時に返却させていただきます。

ご理解、ご協力のほどお願い致します。

入院中の生活

① 起床と消灯

起床 6:00

消灯 22:00

※起床時刻には館内放送をさせていただきます。



② 体温と脈拍の測定

測定時間は病棟により、回数・時間に変動がございます。

入院の際、症状に応じてご説明いたします。

*測定時に日（24時間）の便と尿の回数をお聞きします。



③ ナースコール

看護師に繋がりますので、緊急時や連絡用にご使用ください。

「ベッド」「トイレ」「シャワー室」にナースコールが設置されております。



④ 入浴

・入浴、シャワーは医師の許可が必要となります。

利用を希望される方は、看護師にご相談ください。

使用時間（9:00～17:30）となっております。

・入浴・シャワーの許可がない場合は、必要に応じて身体を拭くなどのケアを行います。



⑤ 食事

配膳時間（時間がずれる場合がございます）

朝食 8:00 頃～

昼食 12:00 頃～

夕食 18:00 頃～



●食事は、患者さんの病状に応じて、医師の指示により栄養部がご用意いたします。

- ・ご家族などによる食品の持ち込みは原則禁止とさせていただきます。
- ・食物アレルギー、宗教上の制限がある場合は、お申し出ください。
- ・食品衛生上、配膳後はできるだけ1時間以内にお召し上がりください。
- ・どうしても召し上がれない食品がございましたら、受け待ち看護師にご相談ください。

ご希望をすべてお受けすることはできませんが、可能な範囲で対応させていただきます。

入院中は管理栄養士をはじめとして、医師や看護師、薬剤師など医療スタッフが協働して患者さんの栄養状況を把握し、サポートを行います。

退院の手続きについて

1. 退院日について

- 退院日は医師が決定いたします。原則 10:00 の退院をお願いしております。
- 退院当日は、病棟を出る前に看護師にお声掛けください。
- 「診察券」は忘れずにお持ち帰りください。外来受診や病院への連絡に必要となります。
- 床頭台のセーフティボックス、ロッカー内を確認し、鍵は差し込んだままにしてください。
- 病院の備品（体温計・テレビのリモコン・ハンガー等）、レンタル用品（パジャマ・タオル・オムツ）は持ち帰りにならないようお願いいたします。
- 忘れ物については当院では責任を負いかねます。

2. 入院費のお支払いについて

(1) お支払いは2階受付にお越しください。以下の時間でお支払いが可能です。

受付時間

平 日 : 8:45 ~ 17:00
お問合せ先 : 03-3311-1119 (代表)

(2) お支払いは退院時に、一括で現金またはクレジットカード（VISA）にてお願いいたします。後日お振り込みをご希望される患者様はご相談ください。

土・日・祝日に退院される方は、後日請求書を送付いたしますので1週間以内にお振り込みください。

食事にかかる標準負担額は、1食単位で計算いたします。

ご入院中の患者様については、毎月月末で締め切り、翌月10日以降に請求書を発行いたします。

領収書の再発行はいたしません。各種申請時に必要となる場合がありますので、大切に保管してください。

お薬の処方がある場合には、退院日までに薬剤師、または看護師よりお渡しいたします。

設備やサービスについて

① セーフティボックスの使用について

- ・セーフティボックスは3・4階に設置してあります。
- 1.ロッカーの御利用は、手術のため集中治療室(HCU)に入室する患者様が入室期間のみご利用頂けます。使用する場合はナースステーションへお声がけください。
 - 2.貴重品の出し入れは患者様自身でお願いします。
ロッカー番号・暗証番号は患者様自身でお控え下さい。
 - 3.ロッカーへの預け入れは手術当日にお願いします。
 - 4.ロッカーからの取り出しは集中治療室から一般病棟へ移動した日にお願いします。
 - 5.紛失・盗難に関して、当院では責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 6.ロッカーの数には限りがありますので何卒御協力をお願いします。



縦23・横35・奥行38cm
写真は500mlのペットボトル

② セーフティボックスの使い方

【入れる時】

- 1.ダイヤルを回転し、自由な暗証番号をセットする。
注意：0000 0001 0090などダイヤルを1箇所しか回転しない番号は設定しないでください。
- 2.ツマミをLOCKへ回す。

【開ける時】

- 1.ダイヤルを回転し、セットした暗証番号に合わせる。
- 2.ツマミをOPENへ回す。

③ テレビ

- ・各部屋にはテレビが設置されております。
- ・相部屋でのテレビ使用時は、他の患者さんの迷惑とならないように、イヤホンをご使用ください。
- ・相部屋での、起床時間前と消灯時間後の使用はご遠慮ください。

④ 冷蔵庫

- ・すべてのお部屋で、無料でご使用いただけます。

⑤ Wi-Fi について

- Wi-Fi を無料でご使用いただけます。

Wi-Fi SPOT : NewHeart-3F ・ NewHeart-4F

Password パスワード : davinci0512

使用上、下記の点にご注意ください。

- 公序良俗に反する行為、第三者に迷惑または損害を与える行為
- ネットワークの正常な運用を妨げる行為（ウイルス・不正侵入など）。

⑥ 携帯電話の使用について

- 入院後、必ずマナーモードに設定してください。

※個室での通話をご使用いただけます。

手術室への携帯電話・スマートフォンの持ち込みは出来ません。

- 充電器の貸し出しは行っておりませんので、各自ご用意ください。

携帯電話・スマートフォンは、マナーを守ってご使用ください。

⑦ 洗濯機

- シーツ、枕カバーなど病院の寝具は原則週1回の交換となります。
- パジャマや下着の洗濯は、病棟内のコインランドリーをご使用ください。
洗濯1回100円・乾燥機 60分100円
- 洗剤はご用意ください。（院内での販売はありません）

⑧ お見舞い・面会について

最新情報は当院のホームページをご確認ください。

面会時間 3階、4階病棟 14:00～17:00

集中治療室（HCU） 11:00～12:00、16:00～17:00

発熱、せき、発疹のある方、小学生以下の面会は、制限させていただいております。

面会を希望されない場合は、看護師長にご相談ください。

※患者様への生花（なまばな）の贈り物は感染防止のために、お断りしております。

※治療上、食事制限をしていることがありますので、面会時の食べ物の持ち込みはご遠慮ください。

⑨ 外出・外泊について

- 外出・外泊は、治療の一環として医師の許可が必要です。希望される方は看護師にお声掛けください。
- 「外出・外泊許可申請書」に必要事項を記入し、看護師にご提出ください。
- 外出・外泊時には、病院の連絡先を記入した「外出・外泊許可証」をお渡しいたします。
- 戻られた際は、必ず看護師にお声掛けください。

お部屋の案内

当院では、特別個室・一般個室・多床部屋のお部屋をご用意しております。その特徴や付帯する設備・費用の違いをご確認ください。有料病床は入室された時間に関わらず、一日(0:00～24:00)あたりの料金となります。

	部屋番号	個室料金	テレビ
特別個室	313・314・315・318・410	¥35,200	無料
一般個室	317・412・414・415・416	¥19,250	無料
	304・306・307・309・310 401・403・404・406・407 411・413	¥15,400	無料
	305・308・311・312・316 402・405・408・409	¥0	有料
多床部屋	301-①・②・③・316-①・②	¥0	有料

※集中治療室をのぞき、各病室には冷蔵庫(500mlペットボトルが9本程度入る容量)がございます。

※有料テレビの利用料は1日550円です。

※Wi-Fi接続可能です。

※個室を希望される方は、治療上必要な場合を除き申し込み順となります。

事前に入退院受付へお伝えください。希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

特別個室

35,200円/日

快適な入院生活を送っていただけるようなインテリアです。バリアフリー設計、トイレを標準仕様とし、ゆとりのあるお部屋です。

① 個室のメリット

- テレビがご覧いただけます。
- トイレ・洗面所が付いております
- 静かな環境で療養生活をお送りいただけます

② 病室設備等

テレビ/冷蔵庫/セキュリティーボックス/トイレ/各種アメニティ/シャワー/クローゼット



一般個室

15,400円～19,250/日

バリアフリー設計、トイレを標準仕様としたお部屋です。

① 個室のメリット

- テレビがご覧いただけます。
- トイレ・洗面所が付いております
- 静かな環境で療養生活をお送りいただけます

② 病室設備等

テレビ（無料の個室のみ有料）/冷蔵庫/イス/セキュリティーボックス/トイレ



多床室

無料/日

24時間の共同生活を送ることになります。病気や治療の違いにより、食事や排泄の状況が患者さんごとに異なります。室内に柱のあるお部屋です。

生活音(いびき せき) や臭いなど、周りの人が気になって眠れない方は、個室のご利用をお勧めいたします。

また、入院中に別の病棟へ移動して頂くこともございます。

① 病室設備等

トイレなし、洗面化粧台なし、冷蔵庫、ロッカー、テレビ(有料)など

医療相談室のご案内

患者さんご家族が安心して治療・療養に専念できるように、医療相談室で様々な相談を専門のソーシャルワーカーと看護師が、無料で受けております。

ご希望の方は、お問合わせ先に電話でご予約いただくか、2階受付へお声かけください。
入院中の場合は担当医師、看護師へお申し出ください。

受付時間

平日 : 9:00 ~ 17:00
お問合わせ先 : 03-3311-0123
(内線: 600)
窓口責任者 : 宮田 和人 (医師)
相談担当者 : 半谷 洋介 (社会福祉士)
相談場所 : 診察室 1



※相談は無料です。

※お受けした相談に関しては秘密は厳守いたします。



診断書・証明書について

階受付窓口にて、申し込みから受け取りまでの手続きを行います。

受付時間

平日 : 9:00~16:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
お問合せ先 : 2F受付 03-3311-1119

1 申し込みについて

作成依頼する文書をご持参し、2階受付にてお預かりいたします。文書申込書を発行いたします。またご郵送でもお預かりしております。

ニューハート・ワタナベ国際病院 医事課宛までご郵送してください。

2 受け取りについて

2階受付での受け取りもしくは郵送での対応を行っております。

※ 作成には概ね2週間前後のお時間をいただいております。

3 お支払いについて

申し込み時、退院会計時、受け取り時のお支払いが可能です。振込での対応も行っております。患者様のご希望をお申込みの際に確認させていただいております。

4 注意事項について

- ・ 文書作成は過去の受診に関する証明のみになり、未来日での証明はできません。
- ・ 文書作成後の内容の訂正・追記につきましては別途作成料金が発生いたします。
- ・ 一旦お預かりした文書等を医師の判断により作成せずお返しする場合がございます。
- ・ 文書作成にあたり診察が必要な場合は受診していただくこともありますのでご了承ください。

○ご不明な点がございましたら2階受付までお問い合わせください。

主な文書料金一覧（消費税込） ※ 1通の料金です

・ 生命保険診断書（保険会社用）	16,500円	・ 診療報酬点数確認書	3,300円
・ 身体障害者診断書	11,000円	・ 自賠責診断書・明細書	5,500円
・ 国民年金・厚生年金診断書	22,000円	・ 介護保険に関わる書類全般	3,300円
・ 指定難病診断書	11,000円	・ 自動車免許更新診断書	5,500円
・ 一般診断書（病院書式）	5,500円	・ ダイビング診断書	3,300円
・ 英文一般診断書（病院書式）	11,000円	・ 更生医療意見書	3,300円
・ 健康診断書	3,300円	・ 支払い証明書（1ヶ月毎）	1,100円
・ 死亡診断書（自治体届用）	5,500円	・ 産業医主治医意見書	3,300円
・ 死亡診断書（自治体届用2通目）	2,750円	・ 医療費助成申請書	2,200円
・ 死体検案書	5,500円	・ 身体状況確認書	550円

※ 上記の様式に該当しない書類は内容により判断致します。

災害・緊急時の対応について

非常口(階段)は各廊下の突き当たりにありますので、入院後、必ずご確認ください。

非常時はエレベーターの使用ができませんので、病院職員の指示に従ってください。

⚠ 火事の場合

万一火事を発見したら、「火事だ」と大声を出してください。
その後は、病院職員の指示に従って避難してください。

⚠ 地震の場合

ご自身の安全を守ってください。
その後は、病院職員の指示に従って避難してください。

⚠ 停電の場合

落ち着いて、病院職員の指示に従ってください。



⚠ 医療機器等の場合

何らかの異常を感じましたら、病院職員にお知らせください。

⚠ 保安の場合

身の安全に心配なことがありましたら、お近くの病院職員へお知らせください。

以下のマークの近くへは、診療以外で立ち寄らないようお願いいたします。

名称	イメージ	名称	イメージ
放射性物質		放射性物質 危険箇所 立入禁止	
危険物質		危険箇所	
危険箇所 (強力磁場)		危険物質 (可燃物質)	
危険物質 (有毒物質)			

※そのほか何か異常を感じた場合は、お近くの病院職員に直ちにお知らせください。

感染対策について

1 手指衛生について

最も大切な感染予防策は手指衛生(手を清潔に保つこと)です。

当院では、すべての病院職員に対して患者さんに触れる前後に、手指衛生を行うことを義務付けております。患者さんやご家族、ご面会の方々も 以下の方法で手指衛生へのご協力をお願いいたします。

(1)手指衛生の方法 ・院内に設置されている擦り込み式手指消毒剤による消毒、または流水と石鹸による手洗い



(2)手指衛生を行うタイミング

- ・病室に入る前、病室を出た後
- ・くしゃみや咳で、口を手で押さえた後
- ・食事の前
- ・トイレの後

※病院職員の手指衛生が不十分と思われる場合は、遠慮なくご指摘ください。

2 感染症に応じた予防策について

患者さんの病状に合わせ、感染対策として病室の移動や医療者の个人防护具(エプロンや手袋など)の、着用等を行わせていただきます。

3 インフルエンザ等感染症流行期の感染対策について

患者さんやご面会の方は常時マスク着用の遵守をお願いします。面会につきましては、流行状況に応じて面会禁止・制限を実施しています。詳しくは院内の掲示物や病院ホームページをご覧ください。

また、病棟間での不必要な移動はお控えください。



4 職業感染に関するご協力について

病院職員の針刺し等が発生した場合、職業感染予防のため患者さんへ採血をお願いする事がございます。医療者よりお声掛けいたします。

ご理解とご協力をお願いいたします。

医療安全について

患者確認について

当院では、医療安全の一環として次のような対策を行っております。私たちが安全な医療を提供するには、医療従事者だけではなく、患者さんやご家族の皆様にもご協力いただくことが必要であると考えております。

皆様のご協力をお願いいたします。

1 患者さんの確認

入院中あらゆる場面において、患者さんの氏名と生年月日で、本人確認をさせていただいております。

ネームバンド、点滴や採血容器など氏名が表記されているものは、患者さんと一緒に氏名を確認させていただいております。

次のように確認させていただきます。

- ①「お名前と生年月日をおっしゃってください」
- ②「ネームバンドのお名前を確認させてください」→バーコード照合
確認できた後、診療行為を行います。

2 患者さん誤認防止の「ネームバンド」の装着

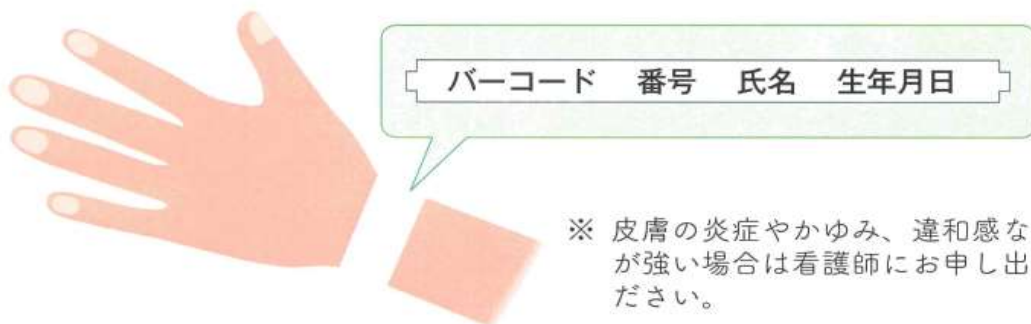
入院患者さん全員に、バーコード・診察券番号・氏名・生年月日が記載されたネームバンドを、手首等に装着していただきます。

患者さんの氏名・ネームバンド・点滴ラベル等を照合して、誤認防止に努めております。

就寝時にも点滴交換などの際には、ネームバンドのバーコードを読み取るため、装着されている側に触れさせていただく場合がございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

「ネームバンド」は

- ①入院から退院されるまで外さずに装着してください。
- ②装着する際は、氏名・生年月日をご自身またはご家族の方に、確認していただきます。



転倒・転落防止について

入院中は、生活環境の変化や病状の変化、薬物療法、筋力や注意力の低下により、思いがけない転倒・転落事故が起こることが少なくありません。

当院では、転倒・転落による患者さんの負傷リスクを低減することを目標としております。そのため、入院時に転倒・転落リスクの評価を行い、生活環境を整備しながら転倒・転落の防止策を検討し、安全で快適な入院生活を送っていただけるよう努めております。入院時に「敷物などの段差に、つまずいた」「しりもちをついた」など、ご自宅での様子を、詳しくお伝えください。評価の結果は患者さん、またはご家族に看護師が説明いたします。

また、評価の結果によっては転倒・転落防止装置を使用させていただくこともございますので、ご理解をお願いいたします。

1 転倒・転落を防ぐためのお願い

- ・室内履きは、踵のついた滑りにくく、紐のない物(運動靴・リハビリシューズ等)をご利用ください。
スリッパは滑りやすいので、入院中の使用はご遠慮ください。
- ・寝巻きは、裾を引きずらないように、足首より上の長さに調整してください。
- ・ベッドから身を乗り出して物を取ったり、拾ったりする動作はバランスを崩しやすく、転落の危険がありますので、ご遠慮ください。
- ・ベッドの上には、絶対に立ち上がらないでください。
- ・ベッド柵は適宜ご使用ください。
- ・ベッドの高さは、看護師が適宜調整しております。
- ・点滴スタンドやオーバーテーブルは、キャスターが付いており移動するため、動作の支えにはしないでください。
- ・床が濡れていると滑りやすく危険です。トイレ、洗面化粧台など水まわりは特に注意が必要です。床が水などで濡れている場合は、看護師にお声掛けください。
- ・荷物は最小限とし、床には荷物を置かないようにしてください。
- ・必要時は、遠慮せずナースコールでお知らせください。

2 転倒・転落をおこすと・・・

切り傷、打撲にとどまらず、骨折や頭部外傷など本来の病気以外に新たな治療が、必要になる場合があります。

転倒・転落防止に、ご協力をお願いいたします。



褥瘡(床ずれ) 予防対策について

1 褥瘡について

一日のほとんどをベッド上や車いすで過ごす方にできやすい、圧迫とずれが原因でできる傷です。床ずれとも呼ばれています。

褥瘡は一度できてしまうと、治すためにはさまざまなケアが必要となります。また、悪くなると筋肉や骨におよぶこともあるので、予防と悪化させないことがとても重要となります。

2 褥瘡ができやすい方について

自分で寝返りができない、自分で座り直しができない、栄養の状態が悪い、浮腫(むくみ)がある、便や尿で皮膚がいつも湿っている、皮膚が乾燥している等、このような方の骨の出ているところに褥瘡はできやすくなります。

3 褥瘡対策について

当院では、様々な褥瘡対策を行っております。

- 入院時や入院後も、看護師が定期的に褥瘡の有無を確認させていただきます。
- 自分で体の向きを変えられない方に対しては、定期的に体の向きを変えたり、マットレスの種類を変更させていただく場合があります。
- 便や尿で皮膚がいつも湿っている方や、皮膚が乾燥している方には、保湿クリームや保護クリームの購入をお勧めしております。
- 褥瘡のある方に対しては、医師と看護師の他に、院内の褥瘡対策チームで治療を行います。

1 痛みによる患者さんへの影響

痛みは、手術やけが、炎症や内臓の腫れ、神経の損傷、心理・社会的な問題など、さまざまな要因で起こり、単にその症状だけでなく、普段できていたことができなくなったり、夜間眠れなくなったりと、気持ちや生活の面にも影響をもたらします。

また、例えば、胸や背中への痛みが心筋梗塞の前兆の場合があるなど、身体にとっての危険信号として痛みが起こることもあります。

そのため、痛みについて医療者に伝えること、早期に対応することはとても大切です。

2 毎日痛みを確認することについて

痛みの感じ方や表現は人それぞれであり、どのような痛みなのか、どのくらい痛いのかは体験している人にしかわかりません。そのため当院では、熱や血圧を測るのと同じように痛みについても毎日患者さんに確認させていただいています。

具体的には、すべての患者さんに対して、看護師が毎日熱や血圧を測るときなどに痛みがあるかどうかもお聞きし、痛みがある場合には、より詳しい情報として、痛みの強さ、部位、性質、1日のパターン、動きとの関連をお尋ねします。

さらに、痛みの増強や緩和に影響する要因、痛みの気持ちや生活面への影響、疼痛治療・ケアへの患者さんの満足度などについても定期的に確認し、痛みの予防や早期発見、適切な疼痛緩和治療やケアの実施に努めています。

3 痛みへの対応法

痛みの原因によっていろいろな対応を行いますが、最も多いのが鎮痛薬による疼痛の緩和です。

鎮痛薬にはいろいろな種類があり、痛みの原因や状態によって、使い分けたり何種類かを併用したりします。痛みが強いときには、適正な基準に従って安全な方法で医療用の麻薬性鎮痛薬を使うこともあります。

鎮痛薬を使用するときには、医師、薬剤師、看護師等から使用方法等について具体的な説明があります。

鎮痛薬以外では、手術、リハビリテーション、心理療法、マッサージや温めたり冷やしたりするケアなどにより、痛みに対応します。



せん妄^{もう}について

1 せん妄とは

せん妄は、脱水・感染・貧血・薬物など、からだに何らかの負担がかかった時に、脳にも負担がかかることで生じる脳の機能の乱れ（意識の障害）です。おもに次のような変化や特徴がみられます。

【 意 識 】

- * ぼーっとする
- * 集中しづらい（TVや新聞などを見られない）
- * 夢か現実かわからない、寝ぼけたような感じ



【 睡 眠 】

- * 眠りが浅くなる
- * 日中、眠気が続く
- * 昼夜逆転し、睡眠のリズムが崩れる

【 その他 】

- * 時間や場所がわからない
- * おかしなものが見える（虫、小さな動物、小人） など

ご家族から見ると・・・

- ぼんやりしている、うとうとしている
- 話のつじつまが合わない
- 自分が今いる場所、朝か夜かなどの時間をまちがえる
- 点滴などのチューブ類を抜いてしまう
- 怒りっぽくなったり、興奮したり、涙もろくなる
- 見えないものを見えると言ったり、ありえないことを言ったりする
- 夜眠らない、夜になると症状が激しくなる
- 以前と性格が変わったように感じる



せん妄は、一般の総合病院に入院している患者さんの20～30%にみられる症状であり、病状が進んだ時や看取り（みとり）の時期でその割合はさらに上昇すると言われています。

当院では手術のすぐあとにも認められています。

せん妄になりやすい方は

- 高齢の方
- お酒の量が多い方
- 認知症あるいは普段から物忘れのある方
- 視力が低下している方や難聴がある方
- 以前にせん妄になったことがある方

せん妄は、体の症状のひとつであり、「気持ちの持ちよう」や「こころの問題」ではありません。ぼけてしまったとか、精神病になったわけでもありません。適切な治療を行えば、半数以上の患者さんで症状が改善すると言われています。

2 せん妄がもたらすもの

- ・危険な行動の原因となる（知らない間に点滴やチューブを抜いてしまう、ベッドから落ちてしまうなど）
- ・患者さん自身がつらさを感じる（頭が混乱して眠れない、不安になるなど）
- ・治療がスムーズにすすまい、場合によっては中止の可能性もある。（意識がくもった状態でいしがはっきりしない、治療のために安静を保てないなどのため）

3 せん妄の治療

1. 負担となっているからだの問題を取り除くこと
2. 脳の機能の乱れを改善するおくすり
3. 患者さんが安心できる環境調整

お薬について

数多くのデータから、うつ病や認知症、統合失調症の患者さんに対して認知機能を回復するように働く薬が、脳の機能のみだらの改善には有効とされており、当院でもまずはじめに使います。

- ・効き方には個人差がありますので、薬は少量から用います。
- ・日中にも眠たく成ったり、ものが飲みにくくなったりすることがあります。そのような場合はすぐに薬の量を減らす、他の薬に変更するなどの対応を致します。

4 ご家族の皆様へ

患者さんの意識が混乱している時は、ご家族がそばにいただけで患者さんは安心されます。

- つじつまの合わないお話があっても、無理に正す必要はありません。
- いつもどおり落ち着いた言葉かけをお願いします。
- 時間や場所がわからないようであれば、教えてあげてください（時計やカレンダーは有効です）。



- 日中起きていられて、夜間に眠れるような働きかけも重要です。
- けがや事故防止のため、はさみや爪切りのような危険物の持ち込みはご遠慮ください。
- 適切な刺激があることは重要です。眼鏡や補聴器がある場合はご持参ください。

深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症を防ぐために

1 深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症とは

長時間、下肢を動かさずに安静にしていると、下肢の静脈の流れが悪くなり、血管の中で血液のかたまり(血栓)ができることがあります。これを深部静脈血栓症といいます。

深部静脈血栓症では、下肢の痛みを伴うこともありますが、その多くは無症状であり、症状からの発見は困難です。

また、下肢の静脈にできた血栓が血管の中を流れ、心臓の血管を通過して肺の動脈に詰まることがあります。

これを肺血栓塞栓症といいます。

2 血栓ができる要因

長時間の安静や不自由な姿勢を続けた場合に生じます。病院内での発生は、手術などの長時間の安静や、病気のために体が不自由な状態で、動けないために生じることがほとんどです。

安静以外に、脱水症状、一部の薬剤を使用している方、生まれつき血栓ができやすい方、膠原病や悪性腫瘍の患者さんの一部でも発生しやすいと考えられます。

3 症状

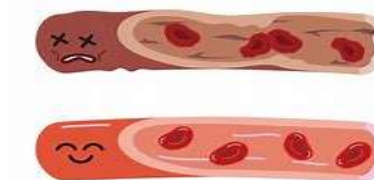
肺血栓塞栓症によって起こる症状は、詰まった血栓の大きさによって異なります。小さな血栓が詰まった場合には、自然に溶けてしまうため問題ありませんが、大きな血栓が太い肺動脈に詰まった場合には、呼吸困難、胸痛、動悸から血圧低下(ショック状態)、意識消失などに陥り、死亡することもあります。

4 予防法

これらはすべての診療科の入院患者さんに、発症する可能性があります。静脈にできた血栓が大きくなって、重症の肺血栓塞栓症が起こってしまうと、生命を脅かすこととなりますので、予防を行うことは非常に重要です。

予防法には理学的予防法(足関節運動、弾性ストッキング、間欠的空気圧迫法)と薬物予防法(抗凝固薬)があります。

当院では、それぞれの患者さんの状態に応じて、これらの中から必要と思われる予防法を選択し行っています。



個人情報保護方針

ニューハート・ワタナベ国際病院(以下「当院」)は、当院の社会貢献の象徴として、医療情報の提供を通して病院を利用される全ての人々、そして病院で働く全ての人々の幸せに尽くすとの考えのもと、個人情報保護の重要性を深く認識し、以下の方針に従い、全ての病院スタッフが個人情報の適切な取り扱いを行うよう努めます。

1 個人情報の収集について

当院が、患者の個人情報を収集する場合、診療・看護及び患者の医療に関わる範囲で行うとともに、個人情報を正確かつ最新の内容に保つよう努めます。この個人情報には、診療録に記載が求められる情報のほか、診療に伴う検査結果記録、画像・映像記録、及び採取標本からの情報を含みます。その他の目的に個人情報を収集する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、ご了解を得たうえで実施します。

2 個人情報の利用および提供

当院は、患者の個人情報の利用については、以下の場合を除き、本来の利用目的を超えて使用しません。

(1) 患者の了解を得た場合

(2) 個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合

(3) 法令等により提供を要求された場合

当院は、法令の定める場合等を除き、患者に許可なくその情報を第三者に提供しません。

3 個人情報の適正管理について

当院は、情報セキュリティの管理体制を整備し、患者の個人情報への不正なアクセス、情報の紛失・改ざん・漏洩の防止等に向けた厳格なセキュリティ対策の実施、社員教育の徹底、委託先への適切な監督等、情報の保護に向けた必要な取り組みを継続的に実施していきます。

4 個人情報の確認・修正等について

当院は、患者の個人情報について患者に開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の規定に従って対応します。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応します。

5 問い合わせの窓口

当院の個人情報保護方針に関してのご質問や患者の個人情報のお問い合わせは下記の窓口でお受けします。

患者相談窓口電話番号

03-3311-1119

6 法令の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当院は、個人情報の保護に関連する法令等の規定に従って個人情報の適正な取り扱いを行っていくなど、コンプライアンス(法令遵守)の徹底に務めるとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

2023年4月1日

ニューハートワタナベ国際病院
院長

当院では患者さんの個人情報の保護に万全の体制をとっています。

当院では、患者さんの個人情報については下記の目的に利用し、
その取り扱いには万全の体制で取り組んでいます。

なお、疑問などがございましたら患者相談窓口にお問い合わせください。

ニューハート・ワタナベ国際病院
院長

当院での患者の個人情報の利用目的

I. 院内での利用

- 1.患者に提供する医療サービス
- 2.医療保険事務
- 3.入退院等の病棟管理
- 4.会計・経理
- 5.医療事故等の報告
- 6.患者への医療サービスの向上
- 7.院内医療実習への協力
- 8.医療の質の向上を目的とした院内症例研究
- 9.その他、患者に係る管理運営業務

II. 院外への情報提供としての利用

- 1.他の病院、診療所、助産院、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- 2.他の医療機関等からの照会への回答
- 3.患者の診療等のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- 4.検体検査等の業務委託
- 5.患者の家族等への病状説明
- 6.保険事務の委託
- 7.審査支払機関へのレセプト(診療報酬明細書等)の提供
- 8.審査支払機関又は保険者への照会
- 9.審査支払機関または保険者からの照会への回答
- 10.事業者等から委託を受けた健康診断に係る、事業者等へのその結果通知
- 11.医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
- 12.医薬品等の安全対策に資するため、厚生労働省及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する医療情報データベース基盤整備事業に、医療情報を匿名化して提供すること
- 13.生命・身体保護、公衆衛生の向上、児童の健全育成に資するため、消費者庁及び独立行政法人国民生活センターの実施する医療機関ネットワーク事業に、事故情報を匿名化して提供すること
- 14.その他、患者への医療保険事務に関する利用

III. その他の利用

- 1.医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- 2.外部監査機関への情報提供

※1.上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を担当窓口までお申し出ください。

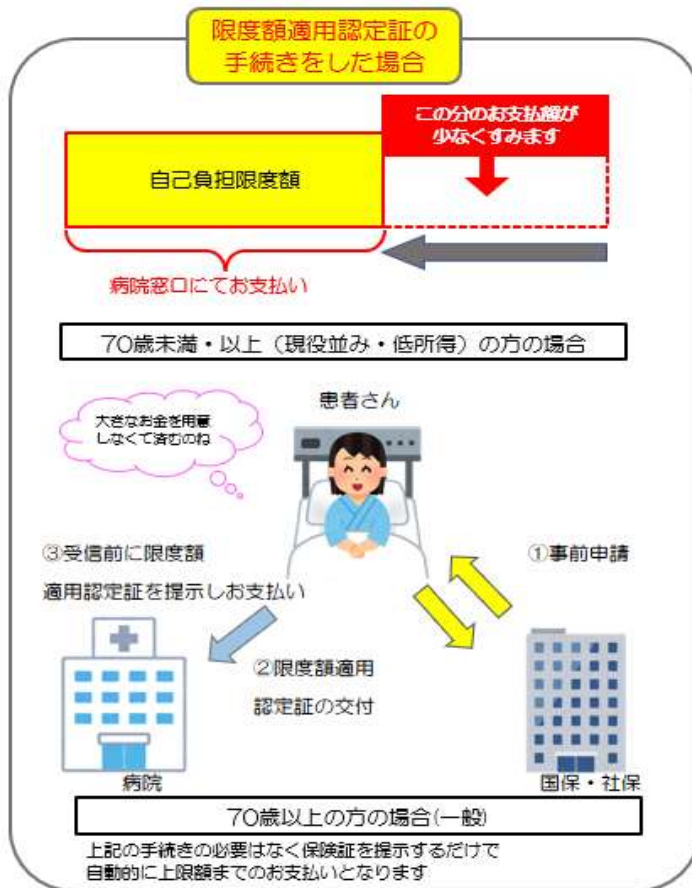
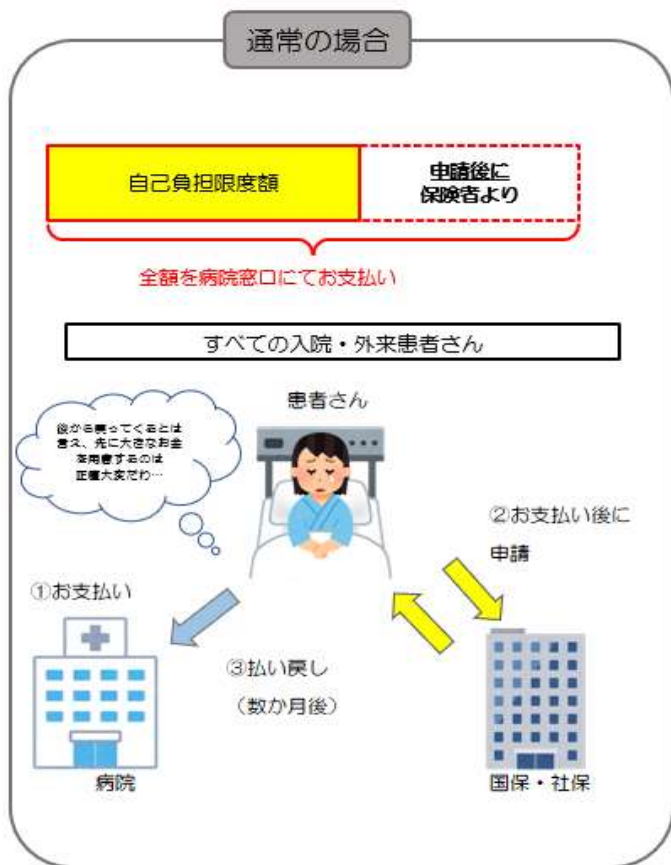
※2.お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。

※3.これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等を行うことができます。

医療費が高額となる患者様へ

限度額適用認定証のご利用をおすすめします

限度額適用認定証をご提示いただくことで、入院診療費や外来診療費のお支払いについてはそれぞれ1ヶ月あたりのお支払いが一定の限度額※までとなるため、多額の現金のご用意の必要がなくなります。
 ※限度額は、被保険者の方の所得に応じて異なります（下段参照）。また、入院・外来それぞれの上限額となります。



■70歳未満の方

国保・社保への事前申請を行って限度額適用認定証の交付を受け、受診前に2階「受付」に提示することで、以下の上限額までのお支払いとなります。

世帯の所得区分	診療費支払額の上限	
	外来	入院
ア 年収約1,160万以上	252,600円 ※上記の上限に加えて（総医療費-842,000円）×1%	252,600円 ※上記の上限に加えて（総医療費-842,000円）×1%
イ 年収約770万円～約1,160万円	167,400円 ※上記の上限に加えて（総医療費-558,000円）×1%	167,400円 ※上記の上限に加えて（総医療費-558,000円）×1%
ウ 年収約370万円～約770万円	80,100円 ※上記の上限に加えて（総医療費-257,000円）×1%	80,100円 ※上記の上限に加えて（総医療費-257,000円）×1%
エ 年収約370万円以下	57,600円	57,600円
オ 住民税非課税	35,400円	35,400円

■70歳以上の方

保険証（70歳～74歳の方は合わせて前期高齢受給者証）を受診前に提示することで自動的に下記の上限額までのお支払いとなります。（現役並みⅠ・Ⅱ・低所得の方は事前申請及び認定証の提示が必要となります）

世帯の所得区分	診療費支払額の上限	
	外来	入院
現役並み・3割負担	Ⅲ 年収690万円以上	252,600円 ※上記の上限に加えて（総医療費-842,000円）×1%
	Ⅱ 年収380万円以上	167,400円 ※上記の上限に加えて（総医療費-558,000円）×1%
	Ⅰ 年収145万円以上	80,100円 ※上記の上限に加えて（総医療費-257,000円）×1%
一般所得 年収145万円未満	18,000円	57,600円
低所得Ⅱ 非課税世帯	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ 非課税世帯		15,000円

入院の場合、上記の上限額に食事代や保険適用外（個室代、おむつ代等）の負担が別途必要となります。
 外来・入院分の合算、世帯合算、多数回該当の適用についてはこれまでどおり国保・社保への事後申請でのお手続きが必要です。

手続き方法・お問合わせ先については「2階受付」までお声掛けください。

手続きの方法・お問い合わせ先のご案内

お手続きの方法については、保険証の種類によって異なります。各保険者毎に下記のとおりになります。入院前にお手続きをお済ませください。

全国健康保険協会(協会けんぽ)の保険証の方



保険証が協会けんぽの方の場合に限り、当院にて手続きの書類をお受け取りになれます。

「1階受付」に「限度額適用認定証の手続きをしたいのですが」とお声掛けください。

お手続きの内容は、お名前・ご住所等をご記入していただくだけでとなります。数分のお手続きから5日程度でご自宅に届きます。記入方法や保険証のコピー等、窓口にてお手伝いしております。

【お手続きに必要なもの】

・保険証・認印(被保険者ご本人様なら不要)

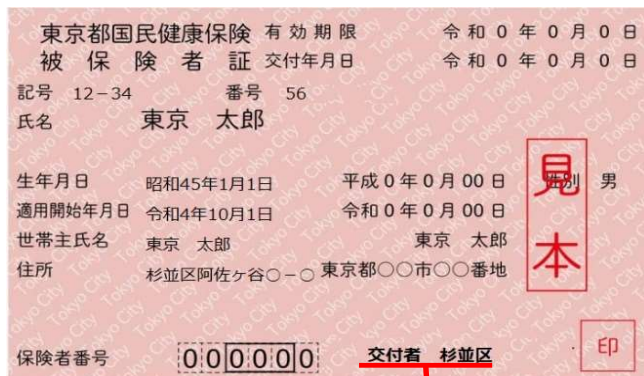
↑上記の保険証なら当院でカンタンにお手続きが完了します！

申請書をポストに投函するだけの状態となるまで当院事務職員がお手伝いいたします。

国民健康保険証の方

保険証が国民健康保険の方の場合は、各市区町村の役所・役場での手続きとなります。

下記のお問い合わせ先に「限度額認定証の手続きをしたいのですが」とお問い合わせください。



- ・杉並区 保健福祉部国保年金課国保給付係 03-5307-0642
- ・世田谷区 国保・年金課 保険給付係 03-5432-2349
- ・中野区 介護・高齢者支援課 介護給付係 03-3228-6531
- ・新宿区 健康部-高齢者医療担当課 高齢者医療係 03-5273-4562
- ・品川区 国保医療年金課給付係 03-5742-6677

その他、国民健康保で加入の区役所へお問い合わせください。

※ここに表記された役所・役場にお問い合わせください。

上記以外の保険証の方

上記以外の保険証の方(組合・共済・船員など)は被保険者の方の勤務先の総務課等に「限度額適用認定証の手続きをしたいのですが」とお問い合わせください。

月が変わると有効期限の遡り申請ができなくなりますので
手続きはお早目をお願いします。

施設案内

5F	院長室・医局・事務局・DI室・調理室 ※患者様の立入りはご遠慮させていただきます。
4F	HCU・一般病棟・シャワー室・貴重品ロッカー・トイレ
3F	一般病棟・シャワー室・貴重品ロッカー・トイレ ・コインランドリー【洗濯乾燥機（有料）・飲料の自動販売機・製氷機】
2F	総合受付・待合ホール・診察室・処置室・レントゲン室・エコー室・受付・会計・医療相談室・トイレ
1F	手術室・CT室・待合室・トイレ

各階 自動販売機

屋外 コイン式駐車場

30分毎 500円です。

8台駐車可能

入院中の駐車場使用はお控えください(長期間の使用不可)

外来受診患者様のみ割引サービスがございます、駐車証明書を2階総合受付までお持ちください。

アクセス

京王井の頭線 浜田山駅から徒歩5分



住所 〒168-0065 東京都杉並区浜田山3丁目19-11

＼お気軽にご相談ください／

無料メール相談はこちら

- ✓ 電話番号不要
- ✓ 24時間受付可能
- ✓ セカンドオペニオンも可

ニューハート・ワタナベ国際病院について
知りたい方は、「ニューハート」で検索

ニューハート

電話番号 : 03-3311-1119

F A X : 03-3311-3119

診察受付時間

		月	火	水	木	金	土	日	祝
午前	9:00 ~ 13:00	●	●	●	●	●	—	—	—
	(受付8:45 ~ 12:45)								
午後	14:00 ~ 17:00	●	●	●	●	●	—	—	—
	(受付13:45 ~ 16:00)								

※院長の渡邊の外来は予約制です。

休診日

土曜・日曜・祝日



